



# 南が丘通信

## 教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人  
思いやりの心を持ち、互いに協力する人  
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035

練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <https://www.nerima->

[tky.ed.jp/minamigaoka-j/](https://www.nerima-tky.ed.jp/minamigaoka-j/)

令和5年度 第2号 令和5年5月15日発行



## ものごとの見方を変えて考えよう

副校長 品川 真秀樹

今月は「ものごとの見方を変えて考える」というテーマでお話しをします。

今年は「どうする家康」という大河ドラマが毎週日曜日に放送されています。その中で、おそらく描かれるであろうシーンを例に述べたいと思います。

今から448年前の1575年に、長野県の長篠で織田・徳川家と武田家の存続をかけた、有名な「長篠の戦い」がありました。当時、火縄銃は一度撃つたびに弾を銃身に込めなければならず、続けて撃つことができないため、個人戦が続く当時の戦には向かないものと考えられていました。

しかし、そのような欠点があると考えられていた火縄銃を、使い方（戦法）を変えることで有効な道具としたのが、織田信長でした。

織田信長は、火縄銃を持たせた兵を3列に並べました。敵が近づくと1列目が撃ち、撃った後の1列目は一番後ろに下がって弾を込め、準備をします。次の2列目は、弾を撃った後には1列目と同様に後ろへ下がって弾を込めて準備をします。最後に3列目が前に出て撃ち、撃ったら下がります。これを繰り返すことで、火縄銃を連続して撃つ戦法を創り出しました。信長は「準備に時間がかかる火縄銃は戦に向かない」という考えを、「列を増やして弾を込める時間を確保できれば、有効な戦の道具になる」と考えました。彼は、長篠の戦いで「火縄銃は戦には向かない」という当時の常識を覆したのです。

私は決して銃は必要だと言いたいものではありません。物事の見方や考え方を変えたことで、マイナスと考えていたものをプラスにできる一例として、この話をあげました。

女性作家の塩野七生（しおのななみ）さんは、「天才とは新しいことを考えつく人ではない。目の前にあるものを見て、それまで誰も気が付かなかったことに気付くことができる人だ」ということを言っています。

誰もが天才になる必要はありませんが、「ものごとの見方を変えて考える」ことで、新しい発見や自分自身を向上させるきっかけになるのではないかと思います。心に留めていただくと嬉しいです。



## ●生徒会朝礼・認証式●

4月24日(月)の生徒会朝礼で、専門委員の認証式が行われました。生徒会長より各専門委員会の委員長へ委嘱状が伝達され、各クラスの専門委員も起立して全校生徒から認証を受けました。中学校における生活は教員の指導だけでなく、生徒の自治によっても進められます。前期の専門委員になった皆さんの積極的な活動に期待します。



## ●セーフティ教室・着こなしセミナー●

南が丘中学校では毎年、年度当初に「セーフティ教室」を行い、携帯やスマートフォン、SNSなどを使用する際の危険性やマナーについて全校生徒が学ぶ機会をもっています。今年度は4月21日(金)にKDDIの方をお呼びして、貴重なお話を伺いました。

また4月28日(金)には1年生を対象に、本校標準服の企画・制作を担当した菅公学生服の方から、本校標準服のデザインや色などの意味、標準服を着用する意義、着こなしのマナーについてレクチャーしていただきました。

単に「ルールだから守る」のではなく、生徒自身が意味をしっかりと考えながら社会性を身につける機会を大切にしていきます。



## ●E組校外学習●

5月9日(火)、E組は校外学習で東京駅と上野の国立科学博物館に行ってきました。今回の目的は「小グループでの行動をする、公共施設・交通機関でのマナーを身につける等」です。駅構内の案内表示を確認して各班が話し合いながら東京駅の団体集合口へ時間内にたどり着きました。東京駅では「丸ノ内駅舎前オリエンタリング」を行いました。16か所のチェックポイントを探し出し、見つけた証としてチェックポイントの写真を撮って回りました。国立科学博物館内では、班員のみで館内を回り、展示のミニ解説「展示見学のみカタ」に取り組み、自分たちで時間を見て休憩をとるなど、目的を持った学びへの活動ができました。E組教室前に活動の様子を掲示しております。お時間があればご覧いただけると幸いです。



## ～今年度の運動会へ向けて～

ゴールデンウィークが明け、南が丘中学校はいよいよ来月の6月3日(月)運動会へ向けて、本格的な準備がスタートしました。生徒実行委員会も立ち上がり、「万里一空～心技体の限界へ～」というスローガンが決まりました。

運動会の目玉の一つ、空手の練習も始まり、休み時間に廊下で型の確認をしている生徒も見受けられます。またwithコロナを念頭に全学年で実施してきたGAOLUTION(大縄飛び)は1年の学年種目として引き継ぎ、2年は台風の目、3年はムカデ競走と、新たなチャレンジが加わります。

今週よりしばらく体育着登校が続きます。ご家庭には洗濯等のご負担をおかけしますが、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

【お詫びと訂正】前回の「南が丘通信」にて、本校主任教諭の表記が間違っておりました。お詫びの上、訂正させていただきます。(正)安藤 一貴

